様式３(2020.08改)

作成日　令和　２年　１０月　３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376300246
事業所名	グループホーム東栄の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	龍洞院の桜まつり、町の文化祭観覧などの地域行事はことごとく中止となっています。それでも「体験学習はできそうですか」という問い合わせもありましたが、法人では現状外部者の入室を禁じており、園児や小中学校の生徒、ボランティアの来訪はストップしています。町内にある店舗で購入したり、小学校から花の苗をもらうなどの水面下での交流を続け、終息を待つ毎日です。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	東三河広域連合に電話で問い合わせ、「中止でもいたしかたない」「何か書面には残すように」と助言を受け、4月は書面開催とし、区長・民生委員をはじめメンバーに活動報告をおこなっており、役場と地域包括支援センターには「書面を確認した」との署名を得ています。6月は通常開催が叶い、8月は少人数での縮小開催　に至っていて、少しずつ通常開催の形に戻りつつあります。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	状態変化では家族に相談のうえ区分変更に至ることもあり、事業所で立ち合い代行する場合もあります。また役場では「古民家をリフォームして長く村に住んでほしい」という移住誘致計画に力を入れていることから、当事業所にも採用の問い合わせがあり、人手不足の折今後の展開が楽しみとなっています。また今回の新型コロナ感染症対策においても助言、指導を仰ぎ、協力体制を築いています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	1ヶ月の報告代わりとして各ユニットリーダーが9名の利用者家族へ便りを発送することは継続していますが、年1回の家族会も今年は中止、面会も自粛のため、家族との連携については更なる対策が求められています。利用者とはこれまで通り、お互いに心を開きやすい入浴の場面や寄り添い歩く散策で意向把握を図り、何気なくこぼれた一言で以前の暮らしぶりが判ることもあります。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										